

EARTH MAN

DRILL PRESS

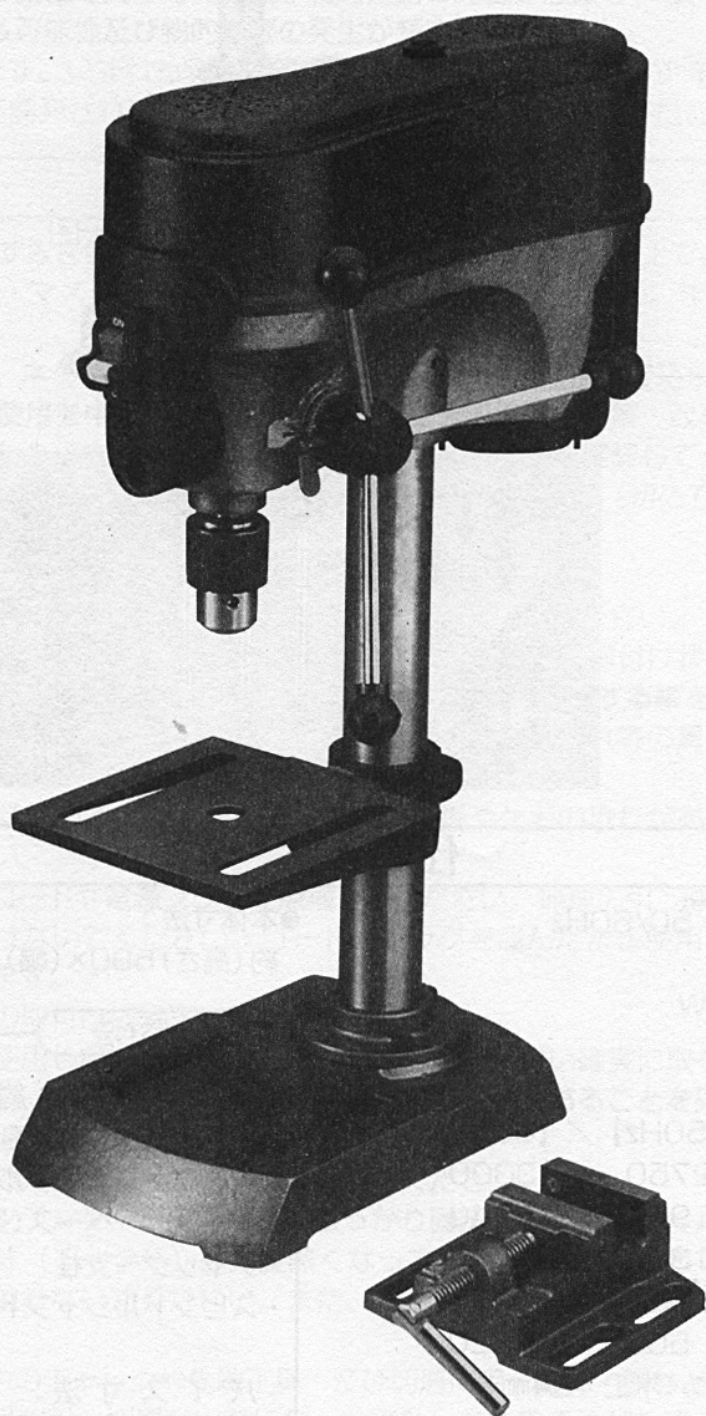
DIY用

DP-250

SERIES

5段変速 卓上ボール盤

取扱説明書 ご使用前に必ずお読みいただき、お手元で大切に保管してください。

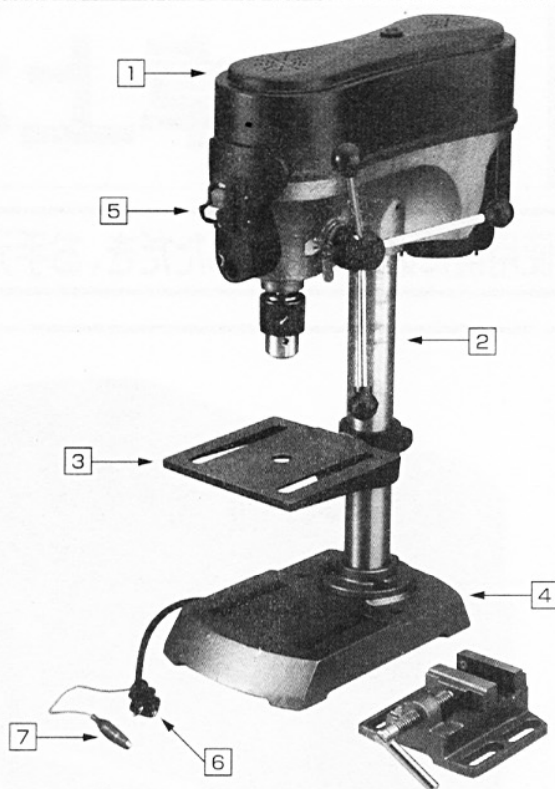


このたびは、卓上ボール盤、を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず、この「取扱説明書」を保管してください。

部品明細／各部名称

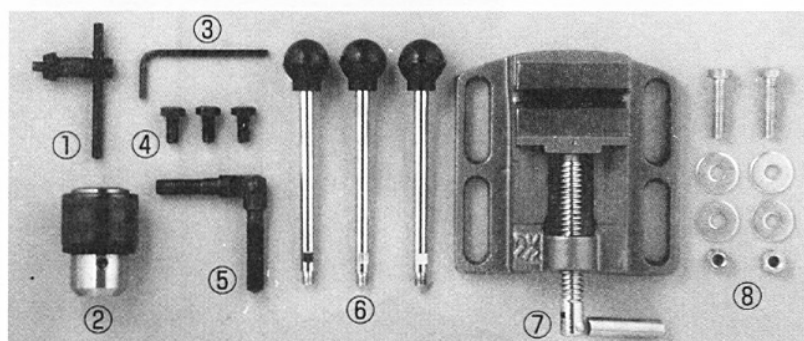
■ 主要部品

- ① 本体
- ② 支柱
- ③ テーブル
- ④ ベース
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ アースクリップ



▼ 付属部品

- ① チャックハンドル
- ② チャック
- ③ 六角棒レンチ
- ④ ボルト
- ⑤ クランクボルト
- ⑥ ハンドル
- ⑦ バイス
- ⑧ バイス固定用ボルト



仕 様

- 電 源：AC100V 50/60Hz
- 電 流：3.1/2.9A
- 消費電力：260/290W
- 出 力：150W
- 回 転 数：

min ⁻¹ (RPM)	ベルト位置	【50Hz】	／	【60Hz】
1	1	2750	／	3300
2	2	1950	／	2340
3	3	1350	／	1620
4	4	830	／	990
5	5	500	／	620

- 穴あけ能力：鉄工 13mm／木工 24mm
- チャック能力：1.5～13mm
- 質量(重量)：約16.5kg
- コード長さ：約1.8m

- 本体寸法：
約(高さ)590×(幅)225×(奥行)410mm

詳細寸法

- ・テーブル寸法：約 163mm×163mm
- ・ベース寸法：約 290mm×180mm
- ・チャック～テーブル(最大)：約 190mm
- ・チャック～ベース(最大)：約 270mm
- ・チャック～支柱：約 100mm
- ・スピンドルシャフト上下幅：約 50mm

- ・バ イ ス 寸 法：
約(高さ)50mm×(幅)130mm×(奥行)130mm
- ・バイス最大口幅：約 50mm

使用前に必ずお読みいただき、お手元で大切に保管してください。

この度は、お買い上げ誠にありがとうございます。

ご使用に際しては必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになった後は、必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、使用者自身や周囲に及ぶ可能性のある危険を防止する為に守っていただくものです。

また注意事項は危害や損害の大きさと重大性の程度を明示する為に、

⚠ 警告（人が死亡または重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

⚠ 注意（人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

の2種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってお使いください。

本機はDIY商品として開発されています。一般家庭用として使用してください。

⚠ 警 告

- ご使用にあたって、必ず取扱説明書をお読みになり使用方法を理解した上でお使いください。
- 作業時には**保護メガネ・マスク**を着用し身軽な服装で行なってください。また長い髪は帽子等で覆ってください。
軍手や袖口の開いた服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具、長髪は巻き込まれる恐れがあり危険です。
- 故障、異常時は直ちに使用を中止して下さい。絶対に自分で修理・分解・改造しないでください。
また本体を誤って落したりぶつけた時は、損傷、変形がないことを確認してください。
- ご使用前には必ず、1分ほど試運転をして安全を確認してください。（初めて使用する際は3分以上行ってください。）
- 輸送による振動でゆるみ、ひび割れ、破損がおこる場合があります。
必ず異常がないことを確認、点検し、試運転を行ってからご使用ください。
- ご使用前に本体、先端工具や可動部分の変形及び破損、位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がなく**正常に運転する事を十分に確認**してください。
- ご使用前に必ず本体、使用されるパーツ及び付属品にキズ、ひび割れ等の**異常がないことを確認**してください。
キズ、ひび割れ等の異常があるものを使用した場合、破損やケガの恐れがあり大変危険ですので、絶対に使用しないでください。
- ご使用前には必ず**電源コードや電源プラグを点検**してください。無理に引っばったり挟んだりせず、熱、油、尖ったものに近づけないでください。コードやプラグを痛んだまま使用されますと**ヤケド、感電、火災**などの原因となります。
- 先端工具（ドリル刃）の取付けは確実に行ってください。
- 指定以外の先端工具は使用しないで下さい。また取扱説明書に従い確実に取り付けてご使用ください。
- 電源につなげる前（調整、取付け）に用いた**工具類が取り外してあることを確認**してください。
工具類が飛びケガの原因になります。
- あまりにも**小さなものの穴あけは危険**ですのでおやめください。
また**加工するものは、クランプ、バイスなどでしっかり固定**して作業してください。
- 使用直後、加工物・本体（モーター）は**大変熱くなっている**ことがあります。**ヤケドの恐れ**がありますので冷えるまで手肌を触れないでください。また、加工物にかえりがついてケガをする恐れがありますので注意してください。
- 大変危険ですので回転中のチャックや先端工具、及び切屑に手・身体・顔などを近づけないでください。**
- 作業内容によっては、研削粉、切屑が火花になって飛散しますので注意してください。
ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など**引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。**
（また雨や湿気の多い場所での使用も避けてください。）

- ドリルの穴あけ直前に強い力がはたらきます。ご注意ください。
加工物をクランプ・バイスなどでしっかり固定してご使用ください。
- 体調のすぐれない時や作業に疲れた時は使用をひかえてください。
- 足場の不安定な所や、無理な姿勢での作業は思わぬ事故につながる恐れがあり危険です。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし十分な照明が必要です。
作業のじゃまになるものは移動、又は取り除いてください。
- 整理整頓を心がけ関係者以外は作業場所に近づけないでください。
また使用後は幼児の手の届かない場所に保管してください。
- この取扱説明書に記した能力を超えた苛酷な作業（強く押し付けて回転が止まるようなこと）をさせないでください。
無理な作業は製品の損傷を招くばかりではなく危険です。
- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。
誤って100V用のものを200V用電源に接続して運転しますとモーターの回転が異常に高速となり機体が破損する恐れがあり危険です。本機は100V用です。
- プラグを電源に差し込む時、抜く時は必ずスイッチが切れていることを確認してください。
また、停電のときはスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- コードをつかんで電源からプラグを引き抜かないでください。
必ず差し込みプラグを持って抜いてください。
- 点検、掃除、先端工具を交換する場合、お手入れをする場合、使用しない場合、作動すると危険な場合はスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 本体を移動する場合は必ずプラグを電源から抜いてください。
- 使用後は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 感電防止の為、（アースクリップ）を必ず接地してください。
電源は必ずアース端子のついているものを使用してください。なお、ガス管へは絶対に接地しないでください。
アース端子のない場合やアースの埋めこみ等は専門の電気工事店に相談してください。
- 感電防止の為、漏電遮断器が設置されていることを確認してください。設置されていない場合は、必ず正しい接地（アース）をしてください。
※関連法令
労働安全衛生規則 第333条・第334条（漏電による感電の防止・適用除外）
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条（設置工事の種類・機械器具の鉄台及び外箱の接地・地絡遮断装置等の施設）
- 感電の恐れがあります。
ぬれた所や湿気の多い所・雨中での使用やぬれた手でプラグを触ったりしないで下さい。また使用中に身体をアース（接地）されているもの（電子レンジや冷蔵庫、パイプ等）に接触しないようにしてください。

⚠ 注 意

- 延長コードが必要な場合は、十分な太さ〈公称断面積〉（ 0.75mm^2 以上）の電源コードを、できるだけ短くお使いください。
目安として本体コードと同じ被覆を施したコードを使用してください。（20m以内）
また必ずアース（接地）できる接地用の芯をもつ3芯キャブタイヤケーブルをお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

		電 流 値		
	コードの長さ	～5A	5～10A	10～12A
コードの 太さ (公称断面積)	0.75mm ²	20m		
	1.25mm ²	30m	15m	10m
	2.0mm ²	50m	30m	20m

ドラム式の延長コードをお使いの場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止する為、コードはすべて引き出して使用してください。

- 機体の風窓はモーターを冷やす為に必要です。ホコリが飛ぶからといって風窓をふさがしないでください。
ふさぐとモーターの温度が上昇し焼損の原因となります。
- 法令及び各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、
周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。
- 油やグリスが付着し、製品が汚れた時は柔らかい布で水拭きしてください。
汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。（乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。）
アルコール類、シンナー、ベンジン等のご使用は製品の破損や故障の原因となります。
- 常温（ $0^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ ）で使用してください。
直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。
モーターの冷却が行われず、モーター焼け、故障の原因になります。
- 火のそば、暖房器具のそば、直射日光下、閉切った車の中、クーラーの風の直接当たる場所には放置しないでください。変型、変色、劣化の恐れがあります。
- 雨中やぬれた場所、風通しの悪い場所、湿気の多い場所、ゴミ、ホコリの多い場所、高温、直射日光下での長時間の使用、保管は避けてください。
- チャックやシャフトに切屑、砂、研削粉などのゴミが入らないよう注意してください。

■組立て方法

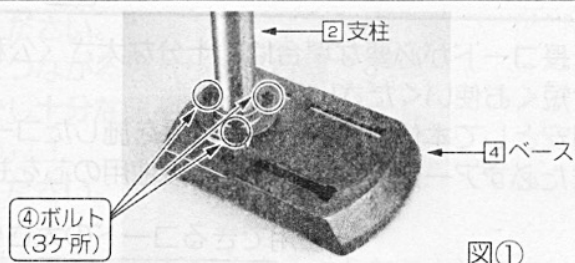
*広く、整頓された明るい場所で、安全に十分注意しながら組み立てを行って下さい。

1 支柱とベースの組み立て

④ベースの上に②支柱を立て、④ボルト（3本）でしっかりと固定して下さい。【図①参照】

*ボルトの締め付けは13mmスパナを使用して下さい。

*スパナはセットに含まれておりません。

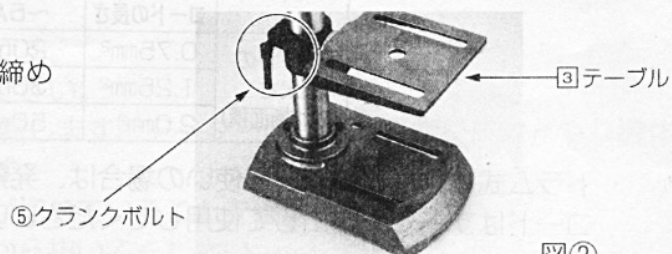


図①

2 テーブルの取り付け

③テーブルを②支柱に差し込み、⑤クランクボルトで締め付けて下さい。【図②参照】

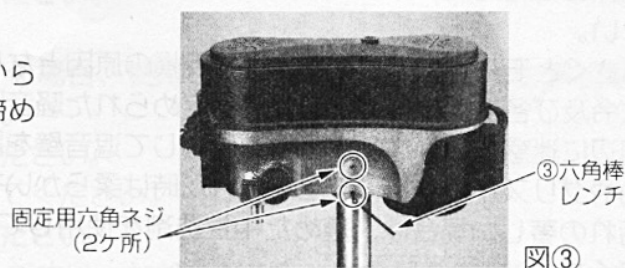
*テーブルの向きはベースに合わせて下さい。



図②

3 本体の取り付け

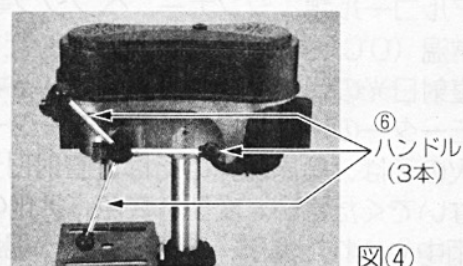
①本体を②支柱に差し込み、ベースと向きを合わせてから固定用六角ネジ（2ヶ所）を付属の③六角棒レンチで締め付けて下さい。【図③参照】



図③

4 ハンドルの取り付け

⑥ハンドル（3本）を本体に取り付けて下さい。【図④参照】



図④

5 チャックの取り付け

*チャックの取り付けを行なう前に、②チャック及びスピンドルシャフトに塗布している防錆用の油を拭き取って下さい。

③テーブルの上に適当な木材を置き、その上に②チャックを乗せて下さい。

（この時、②チャックは①チャックハンドルを使って目一杯開いた状態にして下さい。）

スピンドルシャフトと②チャックの間が20mm程度になる位置に③テーブル位置を調節して下さい。【図⑤-1参照】

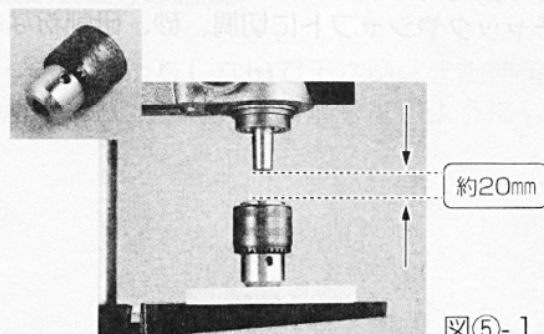
*③テーブル位置の調節方法につきましては、「P.7:1 テーブルの上下調節/左右調節」をご参照下さい。

位置調節が終わりましたら⑥ハンドルを回してスピンドルシャフトを②チャックの穴に強く差し込んで下さい。

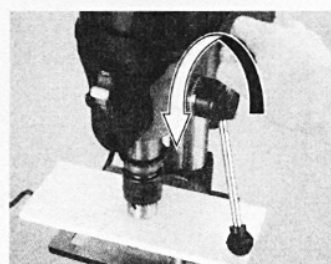
【図⑤-2参照】

⑥ハンドルを放して②チャックがスピンドルシャフトから落ちなければ取り付けは完了です。

*念のため、②チャックに当て木を当て、下からハンマーで数回叩いておくと、脱落の予防になります。



図⑤-1



図⑤-2

6 ベルトの取り付け

- * ベルトを取り付ける際に、指を挟まないように注意して下さい。
- * ベルトはプーリーの最上段に取り付けて下さい。

① 本体のプーリーカバー固定ネジを取り外し、プーリーカバーを取り外して下さい。

- * プーリーカバー固定ネジの締め付けが硬い場合は、ペンチなどの工具を使って取り外して下さい。その際、プーリーカバー固定ネジが傷まないように注意して下さい。【図⑥-1 参照】

モーター固定ナット【4カ所】を適度に緩めてから、モーター位置調整ネジを目一杯緩めてモーター側プーリーと、スピンドルシャフト側プーリーの間を詰めて下さい。(モーター固定ナット【4カ所】を緩めすぎるとボルトが脱落しますのでご注意ください)

- * モーター固定ナットには13mmスパナを使用して下さい。
- * スパナはセットに含まれておりません。お手持ちの物をご使用下さい。

【図⑥-2 参照】

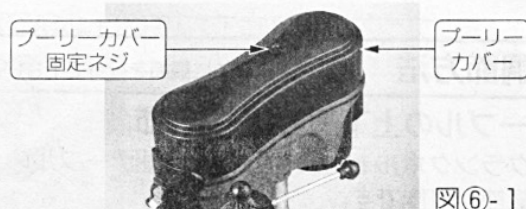
最初にスピンドルシャフト側のプーリーにベルトを掛け、次にモーター側のプーリーにベルトを掛けて下さい。(プーリーに半周ベルトを掛けた状態でプーリーをゆっくり回転させると、ベルトを巻き込んで溝にはまります。)

【図⑥-3 参照】

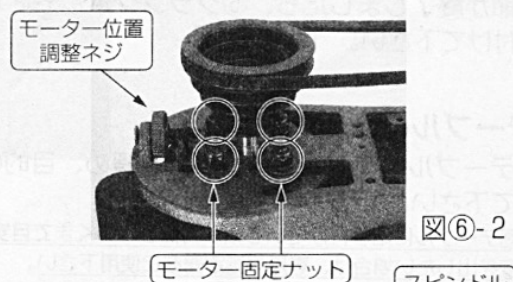
ベルトの取り付けが終了しましたら、モーター位置調整ネジを締め、ベルトを適切な張力で張って下さい。

(ベルトに上から4kgの圧力をかけて13mm程たわむ位が適切なベルトの張力です。) 【図⑥-4 参照】

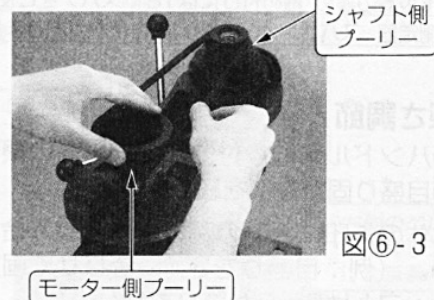
モーター固定ナット(4点)を締め、プーリーカバーを被せて固定して下さい。



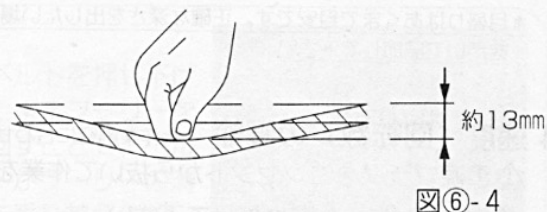
図⑥-1



図⑥-2



図⑥-3



図⑥-4

■試運転

* 作業を行う前には、必ず試運転を行って下さい。* 作業以外は周囲に近づけないで下さい。

* 組み立て完了後・作業前には必ず試運転を行い、各部の点検を行って下さい。

電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

本体組み立て・調節に用いた工具などが全て取り外されていることを確認して下さい。

電源スイッチを「ON」にして、異常なく作動することを確認して下さい。

作動に問題がなければ電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



・電源スイッチを「ON」側に入れば作動します。

・電源スイッチを「OFF」側に入れば停止します。

◆ロックキー

* 作業を一時中断する場合など、電源プラグをコンセントに差し込んだままボール盤より離れる場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてロックキーを抜いて下さい。

* ロックキーを抜いておくことで、不意の作動を防ぐことができます。

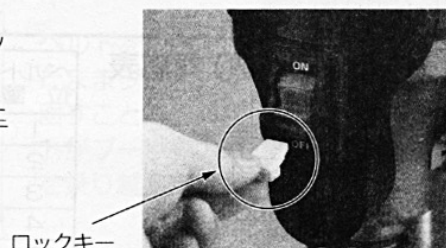
電源スイッチが「OFF」の状態、ロックキー(電源スイッチの黄色い部分)を抜いて下さい。

* 電源スイッチが「ON」の状態でもロックキーを抜いてもモーターは停止しません。必ず電源スイッチが「OFF」の状態に抜いて下さい。

* ロックキーを抜いた状態では電源は入りません。

* ロックキーをなくさないように注意して下さい。

ロックキーを差し直せば電源を入れる事ができます。



■調節方法

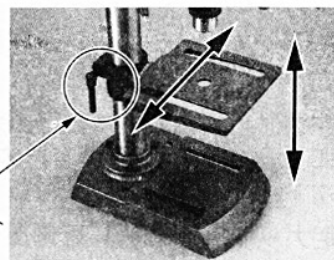
*作業を行う前に調節を行って下さい。*調節時には電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

1 テーブルの上下調節/左右調節

⑤クランクボルトを緩めることで③テーブルの上下調節/左右調節が可能です。

調節が終了しましたら、⑤クランクボルトをしっかりと締め付けて下さい。【図⑧参照】

⑤クランクボルト



図⑧

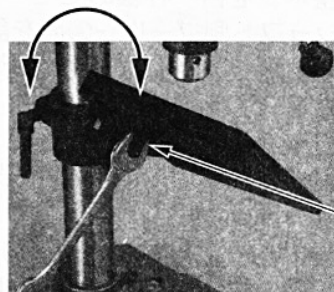
2 テーブルの傾斜調節

③テーブルの裏側にあるボルトを緩め、目的の傾きに調節して下さい。【図⑨参照】

*③テーブルに貼り付けている傾斜目盛りはあくまで目安です。正確な斜度を出したい場合は、専用の測定器をご使用下さい。

*ボルトの緩め・締め付けには18mmスパナをご使用下さい。

*測定器・スパナはセット内容に含まれておりません。



ボルト

図⑨

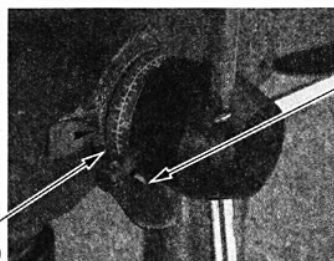
3 深さ調節

⑥ハンドルを取り付けたシャフトの根元部分にある深さ調節目盛り固定ネジを緩めて下さい。

本体の矢印に目的の深さの目盛りを合わせて固定して下さい。(例：目盛りを3cmに合わせて固定すればスピンドルシャフトは3cmしか降りません。)

*目盛りはあくまで目安です。正確な深さを出したい場合は専用の測定器を用いて調節して下さい。

深さ調節目盛り (in./mm)



深さ調節
目盛り
固定ネジ

図⑩

4 速度(回転数)の調節

*作業内容に合わせて適切な速度(回転数)に調節して下さい。

⚠電源プラグをコンセントから抜いて作業を行って下さい。

プーリーカバーを取り外して下さい。

モーター固定ナット(4点)を緩めてから、モーター位置調整ネジを回してベルトを緩めて下さい。【図⑪-1参照】

(モーター固定ナット(4点)を緩めすぎると、ボルトが脱落してしまいますので注意して下さい。)

作業に合わせてベルト位置を調節して下さい。【図⑪-2参照】

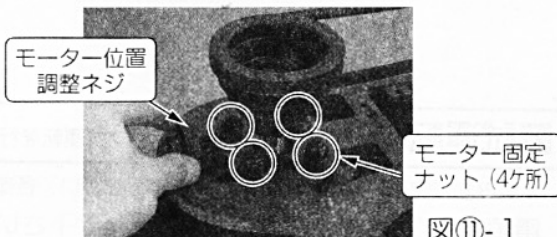
*詳しいベルト位置調節につきましては「P.8 ベルト位置調節」をご参照下さい。

*ベルト位置と速度(回転数)の関係につきましては「P.7 プーリーと速度(回転数)対応表」をご参照下さい。

ベルト位置が決定しましたら、モーター位置調整ネジを回して、適切な張力でベルトを張って下さい。

(ベルトに上から4kgの圧力をかけて13mm程たわむ位が適切なベルトの張力です。)【図⑪-3参照】

モーター固定ナット(4点)を締め、プーリーカバーをかぶせて固定して下さい。



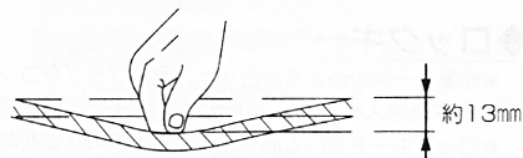
モーター位置
調整ネジ

モーター固定
ナット(4ヶ所)

図⑪-1

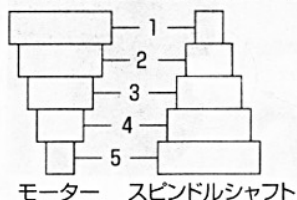


図⑪-2



図⑪-3

・プーリーと速度(回転数)対応表



モーター スピンドルシャフト

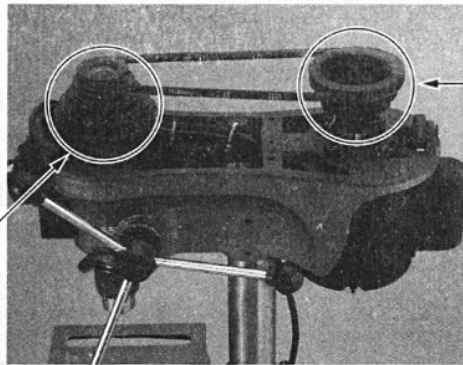
ベルト 位置	回転数 min ⁻¹ (RPM)	
	50Hz	60Hz
1	2,750	3,300
2	1,950	2,340
3	1,350	1,620
4	830	990
5	500	620

* ベルトの移動方法 *

ベルトを移動させる場合は、指を挟まないように十分注意して下さい。

⚠ 電源プラグをコンセントから抜いて作業を行って下さい。

スピンドル
シャフト側
プーリー



モーター側プーリー

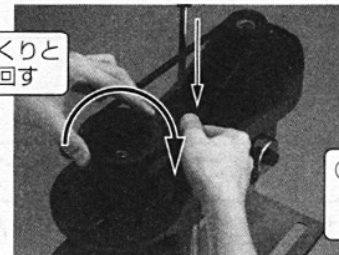
・ ベルトを下げる場合

* ベルトを下げる場合は、モーター側のプーリーから行うと作業が楽に行えます。

モーター側のプーリーを手前、スピンドルシャフト側のプーリーが奥になる位置で作業を行って下さい。

- ① 右手で右側のベルトを押し下げて下さい。
(ベルトは押し下げたままにして下さい。)
- ② 左手でモーター側のプーリーをゆっくりと右に回してベルトを1段下の溝にはめ込んで下さい。
(ベルトを押し下げている指を挟まないように注意して下さい。)
- ③ ベルトが1段下の溝にはまりましたら、スピンドルシャフト側も同じ要領で1段下の溝に移動させて下さい。
- ④ 更に下げる場合は①～③の手順を繰り返して下さい。

② ゆっくりと
右に回す



① 右側のベルトを押し下げたまま

・ ベルトを押し下げたままプーリーを回すことで、ベルトがプーリーの溝を乗り越えます。



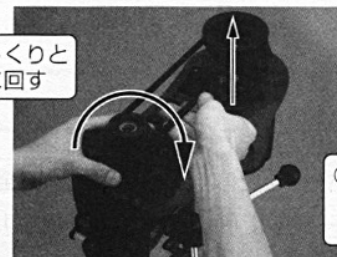
・ ベルトを上げる場合

* ベルトを上げる場合は、スピンドルシャフト側のプーリーから行うと作業が楽に行えます。

スピンドルシャフト側のプーリーを手前、モーター側のプーリーが奥になる位置で作業を行って下さい。

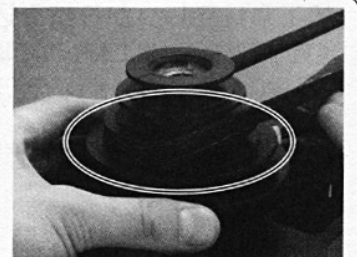
- ① 右手で右側のベルトを引き上げて下さい。
(ベルトは引き上げたままにして下さい。)
- ② 左手でスピンドルシャフト側のプーリーをゆっくりと右に回してベルトを1段上の溝にはめ込んで下さい。
(ベルトを引き上げている指を挟まないように注意して下さい。)
- ③ ベルトが1段上の溝にはまりましたら、モーター側も同じ要領で1段上の溝に移動させて下さい。
- ④ 更に上げる場合は①～③の手順を繰り返して下さい。

② ゆっくりと
右に回す



① 右側のベルトを引き上げたまま

・ ベルトを引き上げたままプーリーを回すことで、ベルトがプーリーの溝を乗り越えます。



5 スピンドルシャフトの調節

*この調節はスピンドルシャフトの動きがスムーズでない場合のみ行って下さい。

*過度の調節は製品の破損や、思わぬケガの原因になりますので注意して下さい。

スプリングキャップを固定しているナット（2個）を取り外して下さい。

*お手持ちの16mmスパナを使用して下さい。

スプリングキャップを向かって左に回せば（反時計回り）スプリングの効きが強くなり、右に回せば（時計回り）スプリングの効きが弱くなります。

スピンドルシャフトの動きがスムーズな位置でスプリングキャップの凹部を本体の凸部に引っかけて下さい。

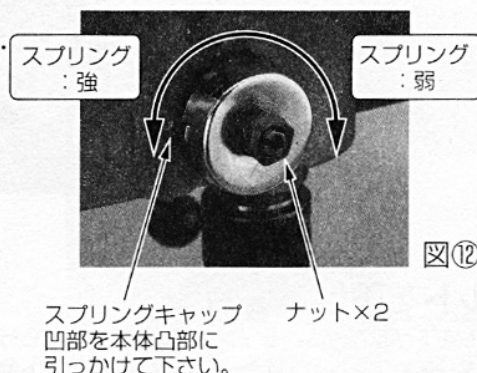
【図⑫参照】

*スプリングが効いていますので、調節時にはしっかりと手でスプリングキャップを保持して下さい。

*スプリングを緩め過ぎた場合、スピンドルシャフトが下がってしまいますので注意して下さい。

スプリングキャップをナット（2個）で固定して下さい。

*ナット（2個）を締め付け過ぎると、スピンドルシャフトの動きが悪くなりますので注意して下さい。



図⑫

■ドリル・バイスの取り付け方法

*ドリル・バイスの取り付け時には、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

*ドリルは刃物です。取り扱いには十分注意して下さい。

*ドリルはセットに含まれておりません。お手持ちの物をお使い下さい。

1 ドリルの取り付け

①チャックハンドルを使い、②チャックを開いて下さい。

【図⑬-1参照】

ドリルを②チャックに約1インチ（約25mm）差し込んで下さい。

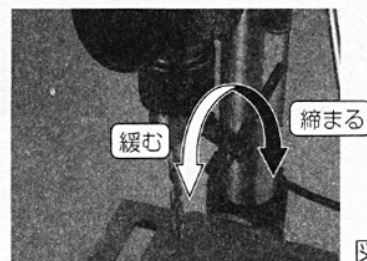
（小さなドリルを取り付ける場合、ドリルの底部が②チャックを取り付けている軸に当たるまで深く差し込まないで下さい。）

①チャックハンドルで②チャックを締めて下さい。

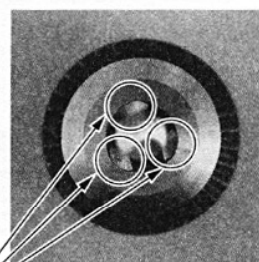
（ドリルが必ず②チャックの3本爪の中央で固定されるように調節して下さい。） 【図⑬-2参照】

スイッチを「ON」にしてドリルを回転させ、ドリルに回転振れがないことを確認して下さい。

（回転振れがひどい場合は取り付けをやり直して下さい。）



図⑬-1



*ドリルは3本爪の中央で固定して下さい。

図⑬-2

3本爪

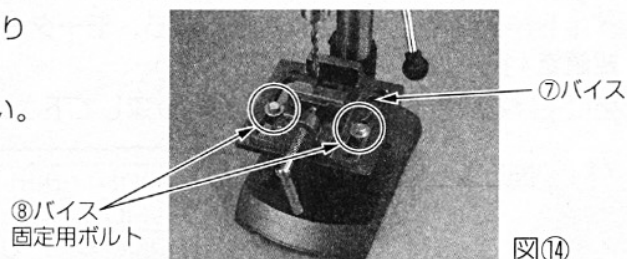
2 バイスの取り付け

*小さな物やパイプなどの加工を行う場合、安全のために必ず⑦バイスで固定して下さい。

必ず⑧テーブルに⑧バイス固定用ボルトを使い、しっかり固定して下さい。【図⑭参照】

加工素材をしっかり挟み込んでから加工を行って下さい。

*締め付け過ぎは加工素材の破損原因になりますので注意して下さい。



図⑭

■ 使用方法 *作業場所には作業者以外を近づけないで下さい。

③テーブルの高さを調節し、加工する素材とドリルの位置を調節して下さい。

*③テーブル中央の穴とドリルの位置を合せておくか、適当な木材などを敷いておくことで、ドリルが加工物を貫通した場合でも、③テーブルやドリルの破損を防ぐことができます。

*③テーブルに木材を敷く場合は、必ず②支柱に向かって左側に当たるように敷いて下さい。

(ドリルの強い力がかかった場合に木材が暴れてしまわないようにするため。)【図⑮-1 参照】



図⑮-1

電源スイッチを「ON」にし、モーターを始動させて下さい。

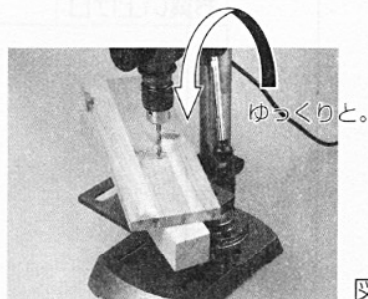
*モーターの回転が安定するのを確認してから加工を行って下さい。

右手で⑥ハンドルを握り、左手でしっかりと加工素材を固定して下さい。

⑥ハンドルを手前側にゆっくりと引いて加工を行って下さい。【図⑮-2 参照】

*⑥ハンドルは必ずゆっくりと引いて下さい。強い力で無理に引いてしまいますと、ドリル・加工素材の破損、怪我をする恐れがありますので注意して下さい。

*⑥ハンドル根元に深度目盛りが付いていますが、数値はあくまで目安です。



図⑮-2

加工が済みましたらゆっくりと⑥ハンドルを元の位置に戻し、電源スイッチを「OFF」にして下さい。

サーモスタット装置について

サーモスタット装置とは、温度が上昇した時（モーター温度約90℃）に自動的に電源が切れ、モーターが止まる安全装置です。サーモスタット装置が作動した時は、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見あたらないければ、スイッチを入れて、再使用して下さい。

※サーモスタット装置が作動したまま、スイッチを切らずに放置しますと、自動復帰して電源が入り、モーターが作動して思わぬ事故につながる恐れがあります。サーモスタット装置が作動した時は、必ずスイッチを切して下さい。

⚠ 保守、点検

- 機械は定期的に手入れをして下さい。安全な作業ができるように常にきれいに保守点検を心がけて下さい。
- 手入れをする時は、必ず電源を抜いてから行なって下さい。
- 故障の際には必ず修理に出すようにして下さい。（お買い求めの販売店または（株）高儀までご連絡下さい。）
- 本体をゴミ、ホコリの多い場所、高温や直射日光のあたる所（40℃以上）、湿気の多い所、風通しの悪い所、小さなお子様の手の届く所には保管しないで下さい。
- メンテナンスの際、本体は水で洗わずに乾いた布で拭くようにして下さい。
アルコール類、シンナー、ベンジン等のご使用は製品の破損や故障の原因となります。
 - ・回転部には、切削屑やゴミが詰まらないように取り除いてください。
 - ・テーブルや支柱に自動車用ワックス等をぬりますと、表面がきれいに保てます。
 - ・ベアリングにはグリスが詰めてあります。回転部、移動部には定期的に油をさして下さい。

保証書

※保証期間内において取扱説明書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本保証書により、
無償で修理致します。
(本保証書はお買い上げ商品にのみの適用ですので、一切の工事費用は適用外となります。)

JANコード	4907052 379107	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
お買い上げ日	年 月 日		
販 売 店	※販売店名・お買い上げ年月日の証明できるものがない場合、無効となりますので 必ずご確認ください。		

※保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの
販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次の場合には有料となります。

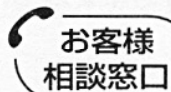
- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輻・船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
家庭用商用電源以外での本体・併設設備の故障および損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合・あるいは字を書き替えられ
た場合・個人販売など販売店名が不明な場合。

※付属品・消耗品は保証の対象外となります。

発売元



株式会社 高儀



お客様
相談窓口

技術的・専門的情報のお問い合わせは…

TEL 0258-66-1233 〒954-0111 新潟県見附市今町5-408
受付時間 AM9:00~PM5:00 (土日祭日および当社の休日を除く)

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を集約させていただき、その
記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当
な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

型 式	品 名
DP-250	EM 5段変速 卓上ボール盤

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。